

12月 県連女性交流登山 仙酔島・大弥山(159m) 福山市鞆町

12月 3日(日) ☆天候 晴

参加者 28名 CL円山

やまぼうし12名(円山 三重典 宮木澄 小山 佐々木 柴田
竹野栄 小林 島田 小寺 森川 堂垣内)

福山8名 佐伯4名 広島2名 呉2名

コースタイム

福山駅 9:00～鞆の浦渡船場 10:00～仙酔島渡船場 10:15～大弥山 11:08～
国民宿舎仙酔島前 11:15⇒12:30 鞆の浦渡船 12:40～交流会(鞆の浦史跡めぐり)
13:00→14:30 福山駅 15:00

報告

女性交流登山。今回は福山には高い山はないけれど、歴史ある散歩道、鞆の浦・仙酔島に観光もかねて歩きましょうと、福山とどこの会が計画担当してくださいました。暖かい日差しのなか渡り船で仙酔島へ、島内には600m～3.5Kmのハイキングコースが設けられていてゆっくりと大弥山に登った。展望台も所どころ設置され鞆の浦の美しい墨絵のような景色を楽しみました。国民宿舎仙酔島の前で昼食、新鮮なさよりの一夜干を買い仙酔島をあとにした。

鞆の浦史跡めぐりでは現地ガイドの宮さんの案内で、江戸時代の家並が残る町並を案内してくださいました。医王寺か

ら眺めた「春の海」を宮木道雄さんがイメージして作曲したとされています。宮城道雄さんの銅像が鞆城跡に立てられていました。また小山祐士さんが戯曲「泰山木の木の下で」を書いた所とされています。古来より港町として栄え歴史的に宗教を布教するためにもっとも良いところとお聞きしました。鞆の浦は鞆架橋計画をめぐって今でも論争が続いています。江戸時代からの町並歴史的景観を残すのか架橋か、あの美しい景色おだやかな海に弁天・山酔・皇后など緑の島々が浮かぶ絵のような情景、強く印象に残りました。

(記 円山祥子)

